

# 熱田区障害者自立支援連絡協議会 地域だより

令和2年3月吉日発行

## 〈一貫した支援を考えよう部会〉

目的 参加事業間の相互の理解を求めるとともに、ネットワークの強化を図る機会とする。また、ライフステージを通じた障害者への一貫した支援を考えるものとする。

- 課題 ①人材不足と福祉従業者の地位向上  
②18歳以降の支援について（就労・余暇を含む）  
③防災に関して  
④性と生に関して



4月に行われた第1回の部会において、「テーマがあれば立ち戻れる、テーマがあれば流れない」として、今年度は『人材育成と福祉人材を増やす!』をテーマに1年間活動してきました。

### ①人材育成における支援力向上に向けた取り組み

#### 〈研修の実施〉

◎6/26「名古屋市障害のある人もない人も共に生きるための障害者差別解消法」

名古屋市障害者差別相談センター 主事 伊藤 典子氏

◎9/12、1/23

「どんなハンディがありますか？どんなことに配慮してほしいですか？～当事者からの声～」

障害者差別解消推進条例の順守に向けて、地域で1人暮らしを行う知的、精神、視覚の障害当事者から直接話を聞くことで、日常必要な合理的配慮について考える機会としました。

### ②18歳以降の支援（就労・余暇を含む）について

◎5/14：南養護学校進路説明会

今まで先生が行っていた進路説明会を、今年度初めて自立支援連絡協議会で取り組みました。学校で保護者を対象に事業所のワークショップを行うことで、親も18歳以降の生活のイメージが持つことができる機会になりました。



## ◎児童連絡会

今年度も児童連絡会は隔月で開催しました。

◎5/24：「事業所紹介 区内事業所の理解を深める」児童支援事業所10カ所がそれぞれの特徴や取り組みについて報告。区外の児童関係の機関にも参加を呼び掛けました。

◎7/18：「名古屋市中心療育センター見学」中央療育センター診療相談係長杉浦様より、センターの概要についてご説明いただいた後、施設の見学をさせていただきました。

◎9/20：「事例検討会」NPO あいち障害者センター理事長近藤直子氏をお迎えして行いました。事例を通じて「本人の発達支援として放デイで何ができるか」「家族支援、地域支援においてどんなところとつながりながら支援していくといいのか」という部分に着目し、3つのグループに分かれて意見交換を行いました。



◎11/15：「日々の困りごと、課題について」

◎1/10：「学校との連携について 子ども応援委員会の役割」

◎3/12に開催の予定でしたが、コロナウィルス感染拡大防止のため中止となりました

## ＜あつたはらぺこ展覧会＞

日にち 令和元年11月11日（月）～17日（日）

会場 イオンモール熱田1階専門店街通路

参加事業所 放課後等デイサービス12事業所

昨年に引き続き、今年度もイオンモール熱田にて展覧会を行いました。

感想ノートには「発想力が豊かで見ている面白かった。」「かざられてうれしい」「子どもたちの作品に癒されました。ぜひ毎年展示してほしいです。」などのコメントが寄せられました。



## ◎あった○連絡会

### ①あった○販売状況

○イオンタウン千年店（6事業所参加）

毎月第1火曜日：11時～14時 / 第3火曜日：10時30分～13時30分

○熱田区役所（7事業所参加） 毎月第2・第4金曜日 11時～14時

#### ●あつたつながるフェア

7月30日、イオンモール熱田店において、熱田区障害者基幹相談支援センター主催「あつたつながるフェア」に参加しました。売上は8事業所合計で57,480円でした。

#### ●あった○福祉バザー

8月29日、イオンモール熱田店にて開催しました。

製品販売だけでなく、当日使えるお買い物券が当たるくじ引きや、バルーンアートなども併せて行いました。また、学生ボランティアの協力も得ることができ、バザーを盛り上げることに繋がりました。売上は8事業所合計で63,130円でした。

#### ●熱田区民まつり委託販売

10月13日、名古屋国際会議場にて行われた熱田区民まつり協議会ブースにて、あった○製品委託販売を実施しました。売上は6事業所合計で49,550円でした。



### ②広報等

#### ◆「みんなでのばそう！健康寿命」事業への協賛

◎上・下半期ごとに500円分の「あった○お買い物券」を10名分提供しました。

◎10月25日の健寿イベントでは販売も行い、6事業が参加しました。

### あった○ロゴマーク完成★

あった○のブランドイメージ向上のため、以前からの懸案事項であったロゴマークを作成しました。連絡会でロゴマークについて話し合いを行い、①カラーは「あったまる」の名前どおり温かみのある配色に、②「みんながまるくつながること」をイメージし、人が輪をつくって表現したものとして完成しました。一般の方にも周知できるよう、区民祭りで配布した「おじゃましまっぷ」や、健寿景品の商品券にもロゴマークを取り入れ、広く周知活動に利用しました。



## ◎準備委員会

昨年度・本年度の協議会の活動を踏まえ、来年度以降の活動の有り方の検討を行うため、準備委員会が設立されました。

＜準備委員会会議＞

- 6/11：「準備委員の目的と協議会の目的の確認」
- 7/16：「30年度協議会活動について振り返り、課題集約」
- 9/17：「課題を踏まえて次年度取り組むべきことの検討」
- 11/27：次年度の協議会の組織等を具体化



## ＜相談支援部会＞

今年度は「課題集約」をテーマに5/8、8/27、11/13の3回、部会義を実施しました。今年度、新しく相談事業所が増えたことにより、相談事業所の現状報告や成功したケース、困っているケースについても共有しました。また、11/13の部会義では、名古屋市知的障害者地域生活体験訓練事業を行っている「ちゃれんじホーム筒井」の杉浦誠治氏をお招きし、ちゃれんじホームの現状や申込み方法等について学びました。

### ◆相談支援事業所向け四区合同学習会

① 8/21 「性に関しての心と体の成長について」

講師 ココカラウィメンズクリニック 院長 伊藤 加奈子 氏

性の問題を抱えている相談ケースが多く、性に関する知識を深め、性を取りまく問題を見据えた支援ができるよう支援者としてスキルアップする機会になりました。また、一貫部会の課題の一つである「④性と生に関する研修会」でもあったため、一貫部会の事業所にも呼びかけ広く参加を募りました。



② 2/10 「高齢者支援とケアマネジメント」

講師 笠松町地域包括支援センター センター長 荒木 篤 氏

四区の特定相談事業所だけでなく、各区のいきいき支援センターにも参加を呼びかけた研修会となりました。地域包括ケアシステムや介護保険制度について等の講義の後、8050問題を抱える一つの事例を通じて、事例を深めるための更なる質問を個人とグループでワークをしました。時間の都合上、支援の手立てまで検討することはできませんでしたが、いきいき支援センターの方も参加されることで、障害のある本人だけでなく高齢の母に対するアプローチの方法についても併せて考えることができました。



## ＜全体会＞

2月28日に第2回全体会開催の予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。全体会中止に伴い協議会の皆様へ当日配布資料を送付し、併せて来年度の組織運営の承認の可否について意見集約を行いました。多数の事業所より承認可の返答があり、来年度はサービス種別等により部会（連絡会）を細分化し、具体的な自分たちが抱えている課題を挙げやすい組織へ再編成することになりました。



# <イベント開催について>

## 熱田区総合防災訓練（9/1）

今年度は大宝小学校で総合防災訓練が行われました。全学年の児童が白杖を使用した手引き体験とアイマスク体験を行いました。点字ブロックの上に自転車などの障害物を置き、臨場感のある体験ができました。一般住民方向けには災害時の要配慮者への支援についての講話とアイマスク体験を行いました。終了後のアンケートでは、障害のある方への理解ができたという回答を数多くいただきました。



## 熱田区区民まつり（10/13）



今年も区民まつりに熱田区障害者自立支援連絡協議会として参加しました。福祉の啓発とお楽しみとしてのポッチャ体験と授産製品の販売を行いました。例年同様、協議会としてあった〇製品を買い上げ、ポッチャの景品として使用しました。区民まつりは今年度より会場が白鳥公園から名古屋国際会議場に変更となりました。台風の影響により規模は縮小されましたが無事開催され、ポッチャ体験やあった〇製品の購入で

400名を超える方々が協議会ブースに足を運んで下さり、大盛況のうちに終わりました。



## エンジョイフェア（2/15）

今年度は会場を熱田区役所講堂へ戻し、午後からの開催となりました。今回は、これまでの各事業所の紹介ブースをなくし、ポッチャを中心に地域の障害のある人もない人も共に交流できる場として開催しました。



当日は、新型コロナウイルスの影響でスタッフはマスク着用、来場者の方にも手指消毒をお願いする中で行われましたが、小さなお子さんから高齢者の方までたくさんの方に来場いただきました。今年は昨年より多い250名以上の来場者があり、とても賑わっていました。ポッチャの進行には昨年もお協力いただいた“ひまわり”の皆さん他、多くのボランティアの方にご協力いただき、名古屋熱田ライオンズクラブ様からのご寄付を区内の福祉施設の商品を景品として購入しました。また、毎年恒例の大抽選会もマックスバリュ千年店様のご協力をいただき大変盛り上がりました。

ご協力をいただき大変盛り上がりました。

毎年委託販売としていたあった〇販売は、今年は各事業所が販売ブースを設置し、来場者の方も楽しそうに見て回られていました。

## GO ぶんし! in the west (7/6)

四区（熱田区・中村区・中川区・港区）合同の取り組みとして名古屋学院大学名古屋キャンパスたいほうにて、GO ぶんし!を開催しました。四区の日中活動サービス事業所が集まり、障害者とその家族、福祉に関心のある学生及び地域の方々を対象に、高校卒業後の進路先の参考にしたり、ステージ企画を楽しんだりなど、450名を超える方が来場し、多くの方々と交流する機会となりました。

### 事務局

熱田区役所福祉課

熱田保健センター保健予防課

熱田区社会福祉協議会

熱田区障害者基幹相談支援センター



### 問い合わせ先

熱田区障害者基幹相談支援センター

〒456-0022

名古屋市熱田区横田二丁目4番16号

TEL052-678-5505 / FAX052-681-7052